

会 議 記 録

記録者：松本 由紀

会議名称	第13回 会津坂下町新庁舎建設検討委員会
開催日時	令和5年6月15日(木) 15:00~16:50
開催場所	会津坂下町役場 3階 大会議室
出席者	委員 20名 事務局：町長、副町長、教育長、総務課長、政策財務課長、生活課長、建設課長、産業課長、教育課長、子ども課長、庁舎整備課長、庁舎整備班長、庁舎整備係長、松本主査

<会議内容>

報告・協議

【報告事項：新庁舎建設に係る現在までの経過について、班長より資料説明】

(委員)

資料1について、2月16日16時から観光物産協会3役で議決した場所で建設してほしいという要望書を提出したが、抜けている。

(班長)

申し訳ありません。抜けていたようなので、修正して改めて提示する。

【報告事項：「新しいまちづくり元年」の今後の進め方について、町長、班長より資料説明】

(委員)

都市マスタープランというのはどこにあるのか。

(建設課長)

都市マスタープランというのは、町の都市計画の基本となる計画。町の最上位計画は振興計画である。マスタープランは都市環境整備の部門の目標を、より具体的に実現する為に策定するもので、町の将来のあるべき姿、目標像、都市づくりの理念を明らかにし、土地利用や施設の機能的な方針を示すもの。よって、単独で作るわけではなく、関係する諸計画等々と調整を図りながら、都市計画の分野に特化し、概ね20年ごとに策定しているもの。実際今出ているものは冊子で、平成29年4月に改定したもの。それから6年ほど経つのだが、改定後一部修正したところもある。社会情勢の変化、住民のニーズによっても変更は可能。

閲覧は自由にさせていただける。各部局には最低1冊配備してある。建設課に来ていただければ、すぐに見ていただける。

(委員)

今の説明で昨年6月まで針を戻すということだったが、以前の町長の話では早く作らなくていけないので進めなくてはという説明をずっと聞いてきた。

厚生病院跡地についても土地の半分を買うという案を町から提示された。半分はどのようにするのかと聞いたら、町長がJAに使ってもらえるよう申し入れをしたということだった。今の説明は厚生病院跡地で、もう一度その計画を皆さんで話してほしいという意図に聞こえた。私は建設場所についてはどこでもいいと思っているが、厚生連の土地を町とJAと一緒に使うという事であれば、JAが決定事項として、町と協定を結んで土地の総合利用計画をしてからでないとう友好的な利用は難しいのではないかと。JAの話を見ると、来年以降の総代会で決めるので、まだ決定していないという。そういうことであれば、JAが使わない場合もある。厚生病院跡地に新庁舎を持っていく話はJAが決定事項するまで保留とするのが普通の考えでないか。

町長が建物が危険なのでどうしても早く作りたいという事であれば、それに代わる代替案を予算的な事も含めて示すべきではないか。

(町長)

私も建物が危険ということで、急がなければという想いでやってきた。しかし、今までの懇談会等で皆さんの意見を拝聴する中で、あまりにも賛成の意見と反対の意見が激しくぶつかりあうような状況を生んだことについて、お詫びしたい気持ちだ。

そのような中で本当にこのまま進んでいいのか、もっと議論を深めるべきだと考えた。建物が危険なことは承知しているので、職員はもちろん来庁者の方も、地震が来たらすぐに逃げるよう言っている。やはり、みんなで合意し合いながら進めるべきで、町民の皆さんが背を向けている状況で進んでも誰も喜ばないと反省している。

農協、厚生連へは正式に約束したわけでもアプローチしたわけでもない。それについて誤解を与えているならば誤解を解く努力も必要だと思っている。先方様にも今まで迷惑かけた分についても丁寧に説明していきたいと考えている。

(委員)

先ほどの事務局の説明の中でまちづくり、中心市街地の再構築を色々検討したなかでということになると、庁舎建設が始まった平成29年度に戻るということか。その当時の町の人口は1万7千人程、現在は1万4千人、これから検討して10年後の人口が1万2千人となった時に中心市街地の再構築が果たして間に合うのか、懸念を抱いている。町全体の中心市街地が、本当に今の場所なのかという検討から始めないと、なかなか難しい問題が残ってくるのかなと個人的に思っているが、事務局の考えは。

(庁舎整備課長)

中心市街地の再構築については、旧坂下地区を全体的に捉えた中で、どのような部分で再構築が必要なのかを町民の皆さんのご意見をお聞きしながら、様々な角度から検討していく。専門的な大学の先生もお招きし、外部の方の意見も聞きながら今後の賑わいを創出して、町全体に広げ

ていく取り組みという事でこれから検討していきたいと考えている。

(委員)

安兵衛通りが南北に出来てから、土日は古坂下から諏訪神社まで全部が見える。それだけ車も人もいない状況。そういう状況で中心市街地の活性化をやってきたと思うが、これからの活性化をどうやっていくのかというのは、役場の建設の前に、町長の言われたようにどのような中心市街地を中心とした坂下町を構築していくのか。それを検討した段階でないと、委員会で基本構想、基本計画を考えるにいたらないのではないかと。

(庁舎整備課長)

新庁舎の建設検討委員会については、新庁舎の持つべき機能や役割について検討する。皆さんにもその部分についてご意見をいただきながら、新庁舎がどのような建物がいいのかを検討する。具体的にいうと、エレベーターやエスカレーター、1階フロアの待合所関係、ATMが必要なのか等を皆さんと検討していきながら、新庁舎の将来像の検討に入っていきたいと考えている。

(委員)

まちづくりと新庁舎建設は切り離して考えていいのか。

(庁舎整備課長)

新庁舎建設検討委員会も中心市街地の再構築に関しても、同時並行的に進んでいくものと捉えている。その中でお互いに意見を交換しながら進めていきたい。最終的には第六次振興計画後期基本計画に集約されていくものと考えている。

(委員)

町長が示した「あたらしいまちづくり元年の今後の進め方」に議決を尊重したとあるが、今後基本構想の議論のスタートは現庁舎の場所という事でよろしいか。

(庁舎整備課長)

議決事項を尊重しということで、この場所に立ち返り、色々検証しながら進めてまいりたい。新庁舎の持つべき機能、役割について皆さんのご意見をいただきながら進んでいくと考えている。

(委員)

第1回目から参加しているが、紆余曲折、色々なご意見がありながらも、なんとか結論を導き出して現庁舎ということになった。その議決が今もいきているということであれば、ここのメンバーは新しい場所をどうしましょうかという議論ではなく、この決まった場所で様々な議論をし、万策尽きてこの場所では無理だとなれば、また別の議論があつていいとは思ふ。とにかく現庁舎で議論を尽くすことが必要。本当に寂しいまちとなったが、結局車や人の通りの賑わいの創出で役場が必要だらうとなれば、それはそれでいいと思っている。大きな商業施設つくるとかそうい

うことではなく。とにかくここで議論をつくすのが、委員会の役割と考える。

(庁舎建設課長)

新庁舎の持つべき機能や役割について、この場所を含めて検証しながら進めていきたいと考えている。当時の議決についても尊重し、その上に立って様々な角度から、委員がおっしゃったようなこの場所ではどうかというようなことを検証しながら進めていく。

(委員)

「10年後・20年後を考える会(仮)」はどのような位置づけとして捉えて計画を進めていくつもりなのか。また過去にまちづくり委員会に参加し、委員長を務めた経験も踏まえて聞きたいが、まちづくりにどのような形で参画させるのかということも含めて、ただ集まって言いたい事を言っていて、その中から都合のいい意見だけ集めてしてアリバイ作りの会議を開くということでは困る。きちんとこういう方々を集めるのであれば、過去のまちづくり委員会のような機能を持たせて、町の将来を行政の方々と一緒に作っていく仕組みが必要だと考える。これは一つの提案。

意見の集めるということで、町民アンケートを実施したと思うが、自分の周辺の人達に色々と聞いてみたところ旧厚生病院跡地にした理由はただ面積が広い、目立つところにあるという理由だけだった。具体的にその土地の値段がいくらだとか、今回は土地が半分しか買えないというような重要事項の説明を受けないで丸をしている。本当に意見聴取したいのであれば、役場の財政状況やその土地でかかる費用等を情報公開し、良い所も悪い所も包み隠さず羅列してこの条件でどうかと議論させないと、若い人達は議論したとならないと思うので、今後の進め方としてその辺りは重要だと思うので、心して情報公開をもとに議論を進めてほしい。

(庁舎整備課長)

進め方について配慮が足りない部分もあったので、その辺りは反省の中に立って、今後はより情報を公開し、共有しながら進めたいと考えている。

(委員)

お金があるのか無いのかがほとんど分からない。資料の中の建設候補地における事業費検討で出てきた数字をばっと見るが、この数字を出したのが専門家の方で、建てるにあたっての費用とそれに附属する用地買収や取り壊し費用の部分が本当に正しいのかというのが坂下地区や他の地区の人の意見を聞くと疑問に思う部分がある。資料を見ると町の借金が減っていて、庁舎を建てるための費用である基金が6億だか8億だかで増えているという認識ではあるが、それが庁舎を建てるにあたり十分に足りているのか、頑張らないと建たない金額なのか町民として分からない。もしまちづくりのコンサルのようなプロの方がこれだけの町の規模、人口であればこの支出は妥当であろうがあればいいが。町民が求める庁舎に対しての部分、例えば防災倉庫が欲しいというような設備的なものが欲しいと言った時に予算がないから駄目だと打ち切られるのであれば、どの位の予算の計画があるのかを次の会議にでも出してもらえればと思う。

(庁舎整備課長)

地域づくり懇談会で提示した概算事業費については、国や県の標準の単価等を用いながら職員が概算事業費算出し比較したもので、あくまでも概算の概算。これから基本構想、基本計画と段階的に進むと専門的知識を持った方々のご意見をいただきながら、改めて正確な費用等々を算出することになる。時点修正は必要だと思うので、皆様方には今時点での修正された金額等々を提示しながら検討の材料として行っていきたい。

町の財政としては財政シミュレーションで行っている部分について、新庁舎建設事業も見込んだ中でスタートしているので実現可能という事でのスタートだと理解いただきたい。

(委員)

地域づくり懇談会の参加したのはどの位の年代層なのか。若い人の意見と良く聞くが、20代、30代、40代の方は参加しているのか聞きたい。していないのであれば、若い人は懇談会というのは参加しにくいもの。小さい子がいれば寝かしつけ等もあるし、小学生になればスポ小や習い事で夜は行けない事もあるし、そういう場だけでなく、学校からの連絡帳を配り、回収し、意見を聞くという方法もあるのではと考える。

(委員)

素人的な質問で申し訳ないが、庁舎建設場所の決定というのは、この委員会でするものではないと思うが、最終的には議会が決定して決定なのか、議会が決定の上で町長決定なのか。根本的な事が分からないのだが。以前参加した時は庁舎の位置が決まっていた、江戸鮎も解体したして現在の場所で中身を検討していきましょうということだったが、今は元に戻っている。この場所以前の仕組みを確認したい。

(庁舎整備課長)

庁舎の場所の決定については、庁舎の位置を決定する条例があり、場所が変われば条例の議決という部分で決定する。

これからの委員会における検討事項は新庁舎が持つべき機能や役割について。諸々を検討していった結果基本構想・基本計画の策定まで行っていきたいのでご協力いただきたい。

(委員)

行政の仕組みが分からないが、決定の条例の議決は議会か。町長一任ではなく。

委員会は庁舎の位置については意見がいうが、議会に責任をもってやってもらい、どこになるか分からないが中身の話をしていきましょうというものか。

(庁舎整備課長)

場所についても議論はでてくると思うが、機能や役割についても議論されていないので、そちらの部分も重要視しながら、皆さんと一緒に新庁舎の姿を作っていきたいと考えている。

(委員)

新庁舎の中身の話は、基本的にはまちなかの人に気を遣いながら厚生病院跡地で考えていく事になるのだと思うが、この委員会についてはまちなかの賑わい創出の話と切り離して考えていかないと進まないに参加した元々の想定としては感じた。どちらかというところ、庁舎建設のソフト面なのかと思った。あまり広がると手に負えない。

(総務課長)

先ほどの庁舎整備課長からの答弁で、議会の議決の流れについて補足する。最終的には議会の議決で決定はするが、議会に案を提案するのは町長。町長が庁舎の位置を含めた会津坂下町をどうしていくのかという事を皆さんからご意見を頂きながら、最終的には責任をもって決定して、それを案として議会に提案し、議会が多数決で決定をしていく流れなので訂正をする。

(委員)

今は決定しているのか、していないのかどちら。

(庁舎整備課長)

していない。

(委員)

していないのならば、現在は町長が JA 等と話し合いながら案をつくり提出し、議決するという事か。気を遣って話すとは分らなくなる。

(委員)

1点確認だが、庁舎の位置については町長が以前言った厚生病院跡地とするのか、それとも議決事項の現庁舎周辺にするのかまだ決定していないという前に、委員会で基本構想、基本計画を練るとする。その時に土地の面積の問題で、県有地や厚生病院跡地であれば2万㎡超える、ここであれば5千㎡しかないとなると、今まで考えたまちづくりの中で社会福祉協議会や商工会等の団体が入ったり、防災の機能が入ったり、すべての機能がまかなえるのかと考えると、機能を分散した構想と一極集中した構想の2つを検討しなければならないと思うがどうか。

(庁舎整備課長)

委員がおっしゃる通りで、新庁舎が持つ役割や機能をどの辺をどのくらいの規模で考えるのかやどういう役割を望んで入れるのかというのを皆さんで考えながら検討していく事になると思う。何通りか分からないがこれから皆さんと考えていく。

(委員)

では2通り考えて、町長が現庁舎といえどもこちらの案、別の場所となればこちらの案という風に検討するという事よろしいか。

(庁舎整備課長)

我々も含めて、題材的に色々な情報を共有しながら検討していきたいと考えている。

(委員)

検討委員会のあり方について、基本的な事を確認するが。前回は10回程開催し、結論が出たが最終的には反故にされた。4月28日の臨時議会に、旧厚生病院跡地で議案を提出する予定だったが出さなかった。6月議会でもそう。私はその前に検討委員会に何らかの説明があってしかるべきと話した。地方自治法で設置が決まっている委員会なのに、議会にこういう案がでますよという説明もなく議会に出そうとした。私は今回こうやって集められて、最終的に出したものは諮問されて答申するものなのだから、法的根拠がなくても尊重はされるべきだと思う。でなければやってられない。我々が議論して出した答えを尊重してくれるのか。

(副町長)

議会で議決されている部分はしっかりと受け止めなければならないものだと思う。6月の意見書の中身も議会から提案されているので、その部分も含めて、議決は受け止めながらしながら、今回基本構想について庁舎はどのようにあるべきなのか、例えば社会福協議会や商工会は一緒に入った庁舎にすべきなのか、そうであればどういう建物が必要なのかも含めて検討いただきたい。

(委員)

委員長も分かっていると思うが、前回基本構想の中の場所は決めた。これから基本計画を議論すると皆考えていた。それが突然江戸鮎買い取りとなり、場所も決まりこのまま進んでいくのであれば、個人的には複合施設にするのか等どうするかと若い人が議論していけばいいと思っていた。ところが急ハンドルを切り、そこから議論が全然なされていない。副町長が言われた中にどういものを入れるのかという話は前回これから話そうとしていた内容。前回はそれが急にとまってしまったのだが、どうなのか。

(副町長)

その部分も様々な形でご意見をいただいている。議決していただいた部分は確固たるものがあるので、この周辺の土地の購入等はそのまま進めていく事になると思う。

ここを前提とした中で建物はどういう複合施設が必要なのか、今、障がい者等へ優しい建物ということにもなっているので、その部分も含めながら全体的な建物の機能、役割をこの検討委員会で議論していただき、つめていきたいと考えて今回は提案させてもらい、今後の方針について説明している。

(委員)

一生懸命議論するので尊重してほしい。

(委員長)

前回までの委員会で急ハンドルという事は間違いないが、それはそれとして古川町長があたりしいまちづくり元年と新しい今後の進め方等について提案があるわけなので、皆さんからの意見を踏まえて、今後何パターンになるか分からないが、スケジュールや金額についての大体の見積等の提示の中でどういう風な形がこの坂下町に必要であるか、どういう団体が入るといいまちづくりとなるのかということが大切なので、役場にもスケジュールや見積等様々な事を会議で提示してもらい、それを議題にしながら進めていくという事でいかが。

(委員)

もうひとつだけ。シミュレーションということで事業費がでていて、現庁舎だけサーバー移転費等が挙がっているが、これはどこに建ててもかかる費用だと思うが。そういうところはいかがか。

(庁舎整備課長)

サーバー移転費等というのは、東分庁舎にあるサーバーの移転費と仮設庁舎関係の費用分となる。どこに建ててもサーバー移転費はかかるが、この場所については本体にかかるのでということで計上させてもらった。

(委員)

もっと綿密な計画をたてて、数字をだしていただきたい。例えば、旧厚生病院跡地に移転するとなった時に図面案を見せてもらったが、駐車場が足りない。その場合、職員駐車場はどうするのか、今の営林署跡地から歩いてくるのか、そうでなければ透析用の駐車場を追加で買うのか、そういう事も全て含めて書いてほしい。

先ほど、関係団体が入るといような話もあったが、商工会で持参金を持たせて入らせてくれと申し入れているにも関わらず、もしそうなった場合に一緒になって入ってくれるのかといったような関係機関への意見聴取もされていない。50億、60億かけて行っていこうという事業なのにあまりにずさんだ。もっと綿密に、関係機関とのすり合わせをきちんとおこなって進めてほしい。50、60年使う建物をつくるわけなので、町民も納得しない。もっと慎重に数字を表して。

(庁舎整備課長)

何十年に一度の大事業なので、もっと綿密にきちんとという部分に関してはご指摘のとおりであるので、我々についてもその段階、段階において出来る範囲の中で専門的な意見を聞きながら、比較もしながら検討、作成していきたい。また関係機関に関しても意見を交わしていないので、具体的にどういう部分でどのくらいの面積、人数なのか協議しながら進めていく。

(委員)

以前アンケートをとり、ゆとりあるスペースを確保すること、災害時に拠点となること、用地

買収や建設費が抑えられることと明確に結果が出ている。この辺を町民の意見として考えながら、町長に場所を選定してもらえればと思う。

ただいずれにしても、この庁舎は耐震の強度がないのでスピード感をもって行っていくべきと思う。

私はある程度防災の現場を見てきたところで、防災の拠点はバラバラでもいいのではないかと考えた意見もあったが、やはり町長の側に、同じ建物の中に防災拠点がある方が多いと感じている。スペースの関係でバラバラになってしまう事もやむを得ないのかもしれないが、自分の感覚としてはそうであったことを皆さんに知っておいていただきたい。

(庁舎整備課長)

様々なご意見をお聞きしながら作成していきたいと考えている。

(委員長)

新しい委員の方の意見を聞きたいのでお願いします。

(委員)

一人暮らしや高齢者世帯、所謂弱者という立場の人をつなぐ役目としては、安心、安全な公共施設が重要だと考えている。まず自助が大切だとは思いますが、それが出来ないことによって消防団等共助があって、そして公助があるわけなので、そういった事を考えると安心できる場所から情報発信をしてほしいことに尽きる。

「あたらしいまちづくり元年」という言葉がでたが、初めて聞く言葉だと思う。町民の方の参画ということもあるので、一般の町民の方にどのように周知するのか。

6月の議会や2月議会というような報道もあったが、本日の資料をみると来年の9月の提出と考えるとよろしいか。

(庁舎整備課長)

安心できる施設ということは当然であると考えているので、そういった部分に向けて皆さんと作り上げていきたい。

「あたらしいまちづくり元年」というものについても、町民の方々に分かりやすく周知できるようにHPや紙ベース等様々な部分でお知らせしていきたいと考えている。

議決の部分に関しては、グランドデザインのスケジュール表で令和6年の9月となっているが、大きな意味でのグランドデザインなので、第六次振興計画後期基本計画の策定に併せて色々な部分ですり合わせをしながら進んでいきたいと考えている。

(委員)

まっさらな所からのスタートと捉えていいのか。

(委員)

農協の現状の説明になってしまうが、厚生病院跡地に農協の移転という話があったが公式ではない。確かにJAも視点施設の再編ということで進んでいる。来年度からは若宮支店、金上支店、広瀬支店の¥が3月1日より体制が変わる予定。若宮支店は坂下支店と一緒にとなり、金上支店と広瀬支店は各日週2回の営業で、ゆくゆくは坂下支店と一緒になる構想である。ただそうするとボリュームが大きすぎるので、今の坂下支店では対応できないという部分もある。先のことで分からないが、新店舗建設という流れで上の方も我々の方も考えてはいる。何年先かは分からないが、農協の方はそういった状況である。

(委員)

新庁舎建設についてはお客さんの噂話等を小耳にはさむ程度であった。元坂下高校の場所がいいや小学校を一つにして跡地を役場にすればいい等聞いた。まさか自分が委員に入るとは夢にも思わなかったが、これから孫を持つ身にもなったので、20年後30年後を考えて、新庁舎についても周辺の市町村でも北会津等には中に消防署が入っていたり、そういうものを見たり、アンテナ高くしていきたいと思うのでよろしく願います。

(委員長)

令和5年度の1回目の委員会で、これから先色々議論する中で発言しやすいかと考え、ご意見をいただいた。

(委員)

あたらしいまちづくり元年グランドデザインという資料について、くらしづくり、しごとづくり、しくみづくりとそれぞれに検討する委員会を持つということで、ここの横の連携、協議経過における響かせ合わせというか、お互いの議論が響き合わないの良い計画にならないと思う。どうやって横の連携なり、議論の交流を行っていくのか。

また、参考までに議会の建設検討委員会はどのような事を行っていくのか聞きたい。

(庁舎整備課長)

中心市街地の再構築や都市マスタープランの改定等様々な部分で大きな意味でのグランドデザイン策定に向けて検討していくが、場面、場面で懇談会や庁内の中で連携、協議をしながら進めていくイメージとなっている。それを第六次振興計画後期基本計画に落とし込んでいくと考えている。

議会の建設検討特別委員会については、議員の方々が新たな視点から新庁舎の目指すべき部分がどうなのか、事務局側が提示する部分でどうなのか議論する委員会となっている。その辺も含めて町と議会と両輪で進めていくことになる。

(委員)

例えば振興計画を策定する時は一つの部屋の中で部会協議をして、そのあとお互いに発表し合

うということで、共通の認識の中で計画の立案が進む。この場合には検討会が別で工程も別なので、具体的にいえば新庁舎建設検討委員会と10年後20年後の会津坂下町を考える会の議論を見当の段階ですり合わせをする必要がないのか。すり合わせまでいかなくとも、情報共有を図りながら検討をお互いに進めていく事が必要ではないか。

(庁舎整備課長)

情報の共有、意見の共有をしながら、場面場面で我々からお知らせをすることや皆さんと一緒に検討する材料にすることを考えている。

(委員)

事前に具体的に組み立てて議論に臨むべきかと思うのでよろしくお願ひしたい。

(委員)

一つ確認で。この委員会では機能について検討してほしいとあったが、機能といっても現庁舎周辺で作る場合と旧厚生病院跡地で作る場合、または別の場所につくりましようとなった場合では全く発想が違ってくると思う。地型が決まらなると建物の形も決まらな。どちらの向きに建てたらいいか等。そういう事を含めると、この委員会では何をいつどういう形で諮問してくるかということだ。

ここが出発点だと先ほどから話しているが、中では旧厚生病院跡地に行きたいという案もある。誰がそこを決定して議論して決めるのか。それがまだ説明されていない。この委員会であるのか、10年20年後考える会であるのか、議会であるのか、町長が決定をしてここでやるので皆さんで検討してくれと諮問されるのか。そのタイムスケジュールは示さなくていいのか。

(庁舎整備課長)

この委員会では場所がありきではなく、新庁舎がもつべき機能や役割について様々なパターンで検討していく。もちろん議会で議決したことは尊重するが。

(委員)

例えば現庁舎周辺で考えるならば、中心市街地を活性化させる機能も入れなくていけない。旧厚生病院跡地で考えるならばそれも切り離して考えなくてはいけない。一緒に議論しろだなんて、土地と地型が決まって初めて我々に諮問するのではないのか。何を我々に諮問するのか。ただこういうのがあったらいいね等話すのか。それはただの意見聴取で諮問ではない。具体的な図面があり、ここにこういうものを入れてほしい、どういうものがあたら町の庁舎機能がさらに有効活用できるということを検討してほしいのだろう。

(庁舎整備課長)

まず整理したいのは諮問答申と考え方だが、この委員会がスタートした時に前町長が基本計画の策定をするまでということだ。平成30年の部分は場所について現本庁舎周

辺を建設候補地とするとの中間答申をいただいている。最終的に委員の皆さんに答申をいただきたいのは場所も含めての基本計画となると思うので、新庁舎の持つべき機能や役割の全ての機能を包括した基本計画としての答申となる。

(委員)

この委員会で場所まで検討するのかということだ。しないのだろう。どういう風に検討していくのか。ここでないという可能性があるならば、中心市街地の活性化の要素はいらなくなる。もう少し具体的に的を絞って会議に出していただかないと、抽象的な事を意見下さいといっても意見を出せない。

(委員)

2つのパターンで考えていくという事なのだろう。

(庁舎整備課長)

現本庁舎周辺で議決をいただいているので、そちらを尊重し前提としながら、色々なパターンを考えていく。

(委員)

それをいうと駄目になってしまう。ここで議論を尽くしましょうと言わなければ。

(委員)

町長は結局場所も含めて検討してほしいのだろう。

場所が決まって、地型が決まって、どういうものを建てる、それから基本計画・利用方法を考えるのが普通だろう。家を建てる時に窓があって、ベランダがあって、台所があって、そんなのは当たり前。ここにあるからこういう機能を入れたい、ここにあるからこういう機能を入れなくてはならないという事があるから検討委員会の中で構想を考えてほしいとなるのではないか。

(庁舎整備課長)

基本構想については、先ほどから申し上げている新庁舎の持つべき機能や役割、外郭団体との話し合い等様々な部分を検討していく中で新庁舎の規模等は決定していきたいと考えている。

(委員)

場所については、町長にお任せして、こちらになるならばこの配置図案、こちらならばこの配置図案という風なことで良いと思う。

最後にお願いだいが、あたらしいまちづくり元年のグランドデザインはぜひ企画調整でお願いしたい。各課にまたがるもので、企画調整でないとできない。

もう一つ、先ほども申し上げたが商店街は本当に車等走っていない。中心市街地の実態調査をお願いしたい。10年後20年後を見据えるとなればすべての家を対象に後継者の有無や、いな

くなった場合に更地になるのかまで確認が必要だと思う。その中で空いた土地に中心市街地の活性化するためにどういう施設が必要なのかという話が出てくると思うので、早急に1件1件の個別調査を図面におこしてやっていただきたい。

(政策財務課長)

委員の言われたように振興計画の取りまとめは政策企画班で行う。今回、都市マスタープラン、中心市街地の再構築については振興計画に含まれるものの特に重要なものを前倒しして、時間をかけて検討したいという事である。全体的な情報共有をしながら、最終的に振興計画に盛り込んでいく。その中で4つ5つの柱の中で全体的に調整をしながら、それぞれ先んじて検討いただいた内容についても振興計画を策定していく。

(産業課長)

空き店舗や空き家も含めて調べていく。分かりやすく図面的なものにしていく。

(委員)

中心市街地と呼ばれるところに住んでいる。実態調査をすれば空き店舗はどんどんふえると思うが、10年後20年後、人口はここが一番多いと思う。その辺も考えて役場はここに建てるべきと思う。商店街で考えると少しずれるが、それは別に考えなければならないと思う。

(委員)

私は位置を頭の中に入れながら中心市街地というものを見なくてはいけないと思っている。

(庁舎整備課長)

先ほどまっさらな所からのスタートでいいのかという質問をいただいたが、基本的にはあたりしいまちづくり元年の進め方にもある通り、過去の議決を尊重した上でとなるのでよろしく願いしたい。

(委員)

要望だが、10年後20年後の会津坂下町を考える会の委員について。今でさえ温度差が酷いので、人選については公正・公平をお願いしたい。

(委員)

今回の新たな移転先案に関して、非常に露わになったのが、中心市街地に住んでいる方と周辺に住んでいる方の温度差というか意見の差が目立った。川西地区でも強く感じた。今後、庁舎移転なり役場建設なりで考えた時に、周辺の地域に住んでいる方の意見も重視して検討いただきたい。そういった意味でも会津坂下町を考える会にいかに周辺地域の住民を入れるのか、特に若い人を入れるのか重視して進めていただきたい。

(庁舎整備課長)

その辺についても公正・公平に十分検討しながら進めていきたい。

【4. 今後のスケジュールについて：遠藤庁舎整備課長より説明】

(委員)

進め方の中で、最終的にいつまでに決めて、遡るといつまでにここまで決めなくていけない、意見を吸い上げるのがここまででまとめるのがここまで等、具体的な内容で開催時期に合わせた概ねの進める内容までを、次の会議に盛り込んでもらえると進み方が分かり助かると思う。

(庁舎整備課長)

開催時期のスケジュールについては今年度中のみを提示したので、今後はそういう内容も含めて提示していきたい。

【5. その他 特になし】